

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岡山理科大学専門学校
設置者名	学校法人 加計学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	建築学科	夜・通信	1980 時間	160 時間	
	建築学科	夜・通信	1470 時間	90 時間	
	建築学科専攻科	夜・通信	840 時間	80 時間	
文化・教養専門課程	愛玩動物看護学科	夜・通信	2010 時間	240 時間	
	トリミング学科	夜・通信	1710 時間	160 時間	
	動物飼育トレーニング学科	夜・通信	3600 時間	160 時間	
	アクアリウム学科	夜・通信	1530 時間	160 時間	
	動物系総合学科研究科	夜・通信	780 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

(<https://www.risen.ac.jp>)

【RiSEN について(情報公開)】 → 【修学支援新制度(実務経験教員担当科目一覧)】

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山理科大学専門学校
設置者名	学校法人 加計学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園ホームページにて公表している。 情報公開>役員一覧
(<https://www.kake.ac.jp/information/officer.html>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社相談役	2025/6/13～ 4年後の定時 評議員会 の 終結時まで	学園の広報活動を 主として法人運営 全般に対する指導・ 助言
非常勤	株式会社代表取締役	2025/6/13～ 4年後の定時 評議員会 の 終結時まで	学園の地域連携を 主として法人運営 全般に対する指導・ 助言
非常勤	株式会社代表取締役社長	2025/6/13～ 4年後の定時 評議員会 の 終結時まで	学園の産学連携を 主として法人運営 全般に対する指導・ 助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山理科大学専門学校
設置者名	学校法人 加計学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。																	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。 シラバスの作成については 11 月に各授業担当者へのシラバスの作成依頼を行い、翌年 1 月に取り纏めと校正を行う。校正後は 4 月に公表する。																	
授業計画書の公表方法	本校のホームページに公表されており、随時閲覧することが可能となっている。 https://www.risen.ac.jp 【在学生の方】→【シラバス授業計画 () 詳しくはこちら】																
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。																	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位の認定については、次の 2 つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的にを行い、評点は 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。 <table><tr><td>評点</td><td>評価</td><td>判定</td></tr><tr><td>100 点～80 点</td><td>優</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>79 点～70 点</td><td>良</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>69 点～60 点</td><td>可</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>59 点～ 0 点</td><td>不可</td><td>単位不認定</td></tr></table> 2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の 3 分の 1 以下の欠時までとする。			評点	評価	判定	100 点～80 点	優	単位認定	79 点～70 点	良	単位認定	69 点～60 点	可	単位認定	59 点～ 0 点	不可	単位不認定
評点	評価	判定															
100 点～80 点	優	単位認定															
79 点～70 点	良	単位認定															
69 点～60 点	可	単位認定															
59 点～ 0 点	不可	単位不認定															
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。																	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校では、GPA 等の指標は用いていないが、成績の分布については、クラスごとに成績の順位を示し、自らの成績の分布状況が把握できるようにしている。																	

客観的な指標の 算出方法の公表方法	本校のホームページにて公表している。 https://www.risen.ac.jp 【RiSEN について(情報公開)】 → 【修学支援新制度(厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要)】
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
	(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第 27 条、および教務規定第 8 条に定められており、公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校のホームページにて公表している。 https://www.risen.ac.jp 【RiSEN について(情報公開)】 → 【修学支援新制度(厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要)】

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山理科大学専門学校
設置者名	学校法人 加計学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園ホームページにて公表している。 (https://www.kake.ac.jp/information/finance.html)
収支計算書又は損益計算書	学園ホームページにて公表している。 (https://www.kake.ac.jp/information/finance.html)
財産目録	学園ホームページにて公表している。 (https://www.kake.ac.jp/information/finance.html)
事業報告書	学園ホームページにて公表している。 (https://www.kake.ac.jp/information/finance.html)
監事による監査報告（書）	学園ホームページにて公表している。 (https://www.kake.ac.jp/information/finance.html)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	建築学科：単位制		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2070 単位時間	960 単位時間	単位時間	1170 単位時間	単位時間	単位時間	
			2130 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		57 人	0 人	2 人	14 人	16 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校のホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。
成績評価の基準・方法
（概要） 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。

評点	評価	判定
100点～80点	優	単位認定
79点～70点	良	単位認定
69点～60点	可	単位認定
59点～0点	不可	単位不認定
2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分の1以下の欠時までとする。		
卒業・進級の認定基準		
(概要) 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。		
学修支援等		
(概要) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。		

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	14人 (38.9%)	21人 (58.3%)	1人 (2.8%)
(主な就職、業界等) 総合建設会社、医療・福祉機器メーカー、住宅会社、工務店、外構工事会社、梱包・不動産管理会社、道路関連土木工事会社、集合住宅会社、ギフト商品卸売会社、建築確認検査機関、建築会社、建築積算事務所			
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) 積算士補：14名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69人	4人	5.8%

(中途退学の主な理由) 進路変更、一身上の都合
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	建築学科：単位制	○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	夜	1440 単位時間	960 単位時間	単位時間	570 単位時間	単位時間	単位時間
			1530 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		17 人	0 人	1 人	8 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
（概要） 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。															
成績評価の基準・方法															
（概要） 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。 <table><tr><td>評点</td><td>評価</td><td>判定</td></tr><tr><td>100点～80点</td><td>優</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>79点～70点</td><td>良</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>69点～60点</td><td>可</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>59点～0点</td><td>不可</td><td>単位不認定</td></tr></table> 2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分の1以下の欠時までとする。	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
卒業・進級の認定基準															
（概要） 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。															

学修支援等
(概要) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (28.6%)	5 人 (71.4%)
(主な就職、業界等) 建築積算事務所、総合建設会社			
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) 積算士補：7 名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	1 人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートをしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築学科専攻科：単位制	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	840 単位時間	240 単位時間	単位時間	720 単位時間	単位時間	単位時間
			960 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
15 人	11 人	0 人	0 人	1 人	1 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）		
（概要） 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。		
成績評価の基準・方法		
（概要） 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。		
1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。		
評点	評価	判定
100点～80点	優	単位認定
79点～70点	良	単位認定
69点～60点	可	単位認定
59点～0点	不可	単位不認定
2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分の1以下の欠時までとする。		
卒業・進級の認定基準		
（概要） 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。		
学修支援等		
（概要） チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 住宅会社、建築設計事務所、総合建設会社、一般企業、官公庁、建材会社、福祉用具販売・住宅改修工事会社			

(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方
(主な学修成果(資格・検定等)) 二級建築士：3名、2級建築施工管理技士補：5名
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	愛玩動物看護学科 (3 年制)：単位制	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2430 単位時間	1680 単位時間	単位時間	750 単位時間	単位時間	単位時間
			2430 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		194 人	0 人	2 人	7 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。
成績評価の基準・方法
(概要) 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、 評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の

通り行う。		
評点	評価	判定
100 点～80 点	優	単位認定
79 点～70 点	良	単位認定
69 点～60 点	可	単位認定
59 点～ 0 点	不可	単位不認定
2) 出席時数による認定の基準		
出席時数の認定は、規定授業時数の 3 分の 1 以下の欠時までとする。		
卒業・進級の認定基準		
(概要)		
卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。		
卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。		
これらの基準は、本学学則第 27 条、および教務規定第 8 条に記載し公表している。		
また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。		
学修支援等		
(概要)		
チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
53 人 (100%)	3 人 (5.7%)	46 人 (86.8%)	4 人 (7.5%)
(主な就職、業界等)			
動物病院、一般企業、保護犬施設			
(就職指導内容)			
キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
愛玩動物飼養管理士 2 級：11 名、愛玩動物飼養管理士 1 級：2 名、サービス接遇検定 3 級：4 名、ペット栄養管理士：25 名、愛玩動物看護師：44 名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
183 人	4 人	2.2%

(中途退学の主な理由) 健康上の理由、一身上の都合
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	トリミング学科：単 位制	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1740 単位時間	390 単位時間	単位時間	1410 単位時間	単位時間	単位時間
			1800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		58 人	0 人	1 人	1 人	2 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
（概要） 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。															
成績評価の基準・方法															
（概要） 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、 評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。 <table><tr><td>評点</td><td>評価</td><td>判定</td></tr><tr><td>100点～80点</td><td>優</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>79点～70点</td><td>良</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>69点～60点</td><td>可</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>59点～0点</td><td>不可</td><td>単位不認定</td></tr></table> 2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分の1以下の欠時までとする。	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
卒業・進級の認定基準															
（概要） 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議におい															

て審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24 人 (100%)	4 人 (16.7%)	18 人 (75%)	2 人 (8.3%)
(主な就職、業界等) ペットサロン、ペットショップ、一般企業			
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) JKC 公認トリマーC 級：24 名、JKC 公認ハンドラーC 級：8 名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	7 人	12.5%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、経済的な理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養 専門課程	動物飼育トレーニング学科(ドッグトレーニングコース)：単位	○	—

				制				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1710 単位時間	660 単位時間	単位時間	1110 単位時間	単位時間	単位時間	
			1770 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	総教員数
80 人		88 人	1 人		2 人		1 人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
（概要） 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。																	
成績評価の基準・方法																	
（概要） 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。 <table> <tr> <td>評点</td><td>評価</td><td>判定</td></tr> <tr> <td>100点～80点</td><td>優</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>79点～70点</td><td>良</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>69点～60点</td><td>可</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>59点～0点</td><td>不可</td><td>単位不認定</td></tr> </table> 2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分の1以下の欠時までとする。			評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定															
100点～80点	優	単位認定															
79点～70点	良	単位認定															
69点～60点	可	単位認定															
59点～0点	不可	単位不認定															
卒業・進級の認定基準																	
（概要） 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。																	
学修支援等																	
（概要） チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。																	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数	その他

		(自営業を含む。)	
38 人 (100%)	2 人 (5.3%)	31 人 (81.6%)	5 人 (13.1%)
(主な就職、業界等) 一般企業、防衛省、ペットショップ、競走馬牧場、保護犬施設、乗馬施設、装蹄教育センター、子犬・子猫卸売会社、馬育成騎乗者・厩務員養成機関、動物園、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果(資格・検定等)) 愛玩動物飼養管理士1級:3名、愛玩動物飼養管理士2級:18名、サービス接遇検定3級:7名、サービス接遇検定2級:2名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92 人	10 人	10.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名		学科名	専門士		高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程		動物飼育トレーニング学科(ホーストレーニングコース)：単位制	○		—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1860 単位時間			540 単位時間	単位時間	1380 単位時間	単位時間	単位時間
					1920 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
80 人		88 人	1 人		2 人		1 人		3 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要) 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。																	
成績評価の基準・方法																	
(概要) 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。 <table> <tr> <td>評点</td><td>評価</td><td>判定</td></tr> <tr> <td>100点～80点</td><td>優</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>79点～70点</td><td>良</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>69点～60点</td><td>可</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>59点～0点</td><td>不可</td><td>単位不認定</td></tr> </table> 2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分の1以下の欠時までとする。			評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定															
100点～80点	優	単位認定															
79点～70点	良	単位認定															
69点～60点	可	単位認定															
59点～0点	不可	単位不認定															
卒業・進級の認定基準																	
(概要) 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。																	
学修支援等																	
(概要) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。																	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	2人 (5.3%)	31人 (81.6%)	5人 (13.1%)
(主な就職、業界等) 一般企業、防衛省、ペットショップ、競走馬牧場、保護犬施設、乗馬施設、装蹄教育センター、子犬・子猫卸売会社、馬育成騎乗者・厩務員養成機関、動物園、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			

(主な学修成果(資格・検定等)) サービス接遇検定3級:2名、愛玩動物飼養管理士2級:1名
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92 人	10 人	10.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物飼育トレーニング 学科(動物飼育コー ス)：単位制	○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間	480 単位時間	単位時間	1380 単位時間	単位時間	単位時間
			1860 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		88 人	1 人	2 人	1 人	3 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)		
(概要) 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。		
成績評価の基準・方法		
(概要) 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。		
評点	評価	判定

100 点～80 点	優	単位認定
79 点～70 点	良	単位認定
69 点～60 点	可	単位認定
59 点～ 0 点	不可	単位不認定
2)出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の 3 分の 1 以下の欠時までとする。		
卒業・進級の認定基準		
(概要) 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第 27 条、および教務規定第 8 条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。		
学修支援等		
(概要) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。		

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38 人 (100%)	2 人 (5.3%)	31 人 (81.6%)	5 人 (13.1%)
(主な就職、業界等) 一般企業、防衛省、ペットショップ、競走馬牧場、保護犬施設、乗馬施設、装蹄教育センター、子犬・子猫卸売会社、馬育成騎乗者・厩務員養成機関、動物園、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92 人	10 人	10.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由、一身上の都合		

(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	アクアリウム学科： 単位制	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1740 単位時間	870 単位時間	単位時間	930 単位時間	単位時間	単位時間
			1800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		66 人	0 人	1 人	5 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
（概要） 授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。															
成績評価の基準・方法															
（概要） 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、 評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。 <table><tr><td>評点</td><td>評価</td><td>判定</td></tr><tr><td>100点～80点</td><td>優</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>79点～70点</td><td>良</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>69点～60点</td><td>可</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>59点～0点</td><td>不可</td><td>単位不認定</td></tr></table> 2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分の1以下の欠時までとする。	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
卒業・進級の認定基準															
（概要） 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。															
学修支援等															

(概要)
チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 (100%)	0 人 (0%)	27 人 (87.1%)	4 人 (12.9%)
(主な就職、業界等) 一般企業、ペットショップ、養殖会社、水産物卸売会社、釣具店、水槽メンテナンス会社、アクアショップ、水産振興協会、水産加工会社、観賞魚飼料メーカー、水族館、その他アクア関連企業			
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) 潜水土：10 名、観賞魚飼育管理士 3 級：8 名、愛玩動物飼養管理士 2 級：10 名、小型船舶 2 級：5 名、小型船舶 1 級：5 名、小型船舶特殊：1 名、ダイビング C カード：20 名、サービス接遇検定 2 級：3 名、サービス接遇検定 3 級：2 名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	1 人	1.7%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物系総合学科研究 科：単位制	—		—	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼		180 単位時間	単位時間	660 単位時間	単位時間	単位時間

		840 単位時間		840 単位時間		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15 人	9 人	0 人	0 人	1 人	1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）		
（概要）		
授業科目ごとに、「担当者名(実務経験有無)」「授業目的」「達成目標」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」「単位数」「必修選択の別」「授業内容とスケジュール」「開講時期」「対象学科」「授業形態」について記載されたシラバスを作成し本校ホームページにて公表し、随時閲覧可能としている。		
成績評価の基準・方法		
（概要）		
単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。		
1) 学習の評価による認定		
評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。		
評点	評価	判定
100点～80点	優	単位認定
79点～70点	良	単位認定
69点～60点	可	単位認定
59点～0点	不可	単位不認定
2) 出席時数による認定の基準		
出席時数の認定は、規定授業時数の3分の1以下の欠時までとする。		
卒業・進級の認定基準		
（概要）		
卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。		
卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。		
これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。		
学修支援等		
（概要）		
チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保証人へ連絡し出席を促し注意喚起を行う等して学業の遅れや原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (92.3%)	1 人 (7.7%)

(主な就職、業界等) ペットショップ、一般企業、ペットサロン、動物愛護財団、教育機関、養殖会社、犬の幼稚園
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方
(主な学修成果（資格・検定等）) JKC 公認トリマーC 級：4 名、ペット栄養管理士：2 名
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を実施してサポートしている。 学生生活面では学生の個別相談に応じて適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
建築学科 (昼間部)	100,000 円	610,000 円	250,000 円	実験実習費・施設設備費
建築学科 (夜間部)	100,000 円	440,000 円	110,000 円	実験実習費・施設設備費
建築学科専攻科	100,000 円	440,000 円	190,000 円	実験実習費・施設設備費
愛玩動物看護学科	100,000 円	520,000 円	410,000 円	実験実習費・施設設備費
トリミング学科	100,000 円	500,000 円	360,000 円	実験実習費・施設設備費
動物飼育トレーニング学科	100,000 円	500,000 円	360,000 円	実験実習費・施設設備費
アクアリウム学科	100,000 円	500,000 円	410,000 円	実験実習費・施設設備費
動物系総合学科研究科	100,000 円	380,000 円	100,000 円	実験実習費・施設設備費
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校のホームページにて公表している。 (https://www.risen.ac.jp) 【RiSEN について(情報公開)】→【学校評価・学校関係者評価・財務状況】		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価の基本方針 設置学科に関係する業界代表者や有識者、卒業生代表、学術機関、他種の専門学校、高等学校、地域代表者を学校関係者評価委員会のメンバーに委嘱し、学校評価(自己点検評価)の公平性の評価を行い、学校運営・経営の適正化に関する意見を聴取して公正な学校教育に資する。また公教育的視野に立って、聴取した意見を公開する。 上記の基本方針に基づいて教学面においては「学修成果」・「教育活動」等、管理運営面においては「学生の受け入れ募集」・「財務」等を主な評価項目とし、各学科に関連する業界関係者より1名ずつ、卒業生より1名、他種の専門学校関係者より1名、地域代表者より1名の委員よりそれぞれの立場から本校の現状を評価いただいている。 評価結果・意見は教学に関する内容については教育内容または学生指導に活かすこととし、管理・運営に関する内容であった場合については学内の管理・運営の仕組みに反映させるとともに教学側と協力して、学校全体で運用が円滑に進むよう体系的に実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 岡山県建築士会	R6. 4. 1～R8. 3. 31	企業等委員
公益社団法人 岡山県獣医師会	R6. 4. 1～R8. 3. 31	企業等委員
公益社団法人 岡山県動物愛護財団	R6. 4. 1～R8. 3. 31	企業等委員
有限会社 マリンシアター	R6. 4. 1～R8. 3. 31	企業等委員
岡山理科大学専門学校 同窓会	R6. 4. 1～R8. 3. 31	卒業生
玉野総合医療専門学校	R6. 4. 1～R8. 3. 31	校長
庄屋電装株式会社	R6. 4. 1～R8. 3. 31	町内会
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校のホームページにて公表している。 (https://www.risen.ac.jp) 【RiSEN について(情報公開)】→【学校評価・学校関係者評価・財務状況】		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

①岡山理科大学専門学校ホームページ

(<https://www.risen.ac.jp>)

②学校案内・募集要項

上記本校のホームページより請求、または電話にて請求することで入手できる。

他に業者から資料請求を行うことでも入手できる。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄(合計欄を含む。)について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード(13桁)	H133310000033
学校名(〇〇大学等)	岡山理科大学専門学校
設置者名(学校法人〇〇学園等)	学校法人 加計学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等(内数) ※家計急変による者を除く。		68人(－)人	63人(－)人	69人(－)人
内 訳	第Ⅰ区分	40人	38人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	18人	16人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分(理工農)	0人	-人	
	第Ⅳ区分(多子世帯)	-人	-人	
	区分外(多子世帯)	人	人	
家計急変による 支援対象者(年間)				0人(0)人
合計(年間)				69人(－)人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分(理工農)とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	一人	0人	11人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	一人
計	一人	0人	12人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。